

令和 5 年臨床研究の承認状況

承認番号		課題名	研究責任者	共同研究者	研究の概要
2023-001	承認	療養型病院職員の SDGs に対する意識と行動の実態調査	河原 紀子	-	第 1 段階:「日常の看護業務」が SDGs のどの目標に相当すると考えるかの看護職員の考えを明らかにする。第 2 段階:第 1 段階で明らかとなった目標ごとの看護業務ついて、看護職員がどれぐらい意識して取り組んでいるのかを明らかにする。 日常の看護業務が SDGs のどの目標に相当するかを具体的にすることで、SDGs を意識して実践することが可能となり、看護職員の SDGs 取り組みの推進の手がかりとする。
2023-002	承認	COVID-19 重症肺炎治癒後症例のまとめ～入院中の経過と退院後の生活全般に関する追跡調査～	守屋 崇文	-	2021 年の当院回復期リハビリテーション病棟に入院した Covid・19 重症肺炎後患者に対して入院中の経過と退院先、退院時の状況をまとめ報告する。さらに、2 年経過後（2023 年 8 月）に追跡調査を行い、ADL や酸素療法の有無、自覚症状、QOL について尋ね状況をまとめ考察を加え報告することで、COVID・19 感染を含む呼吸器疾患の社会復帰後に必要なケアを検討するきっかけとする。
2023-003	承認	健康意識改善に伴う、高齢者の転倒減少に関するパイロット研究	草地 海翔	-	健康意識改善による転倒への影響を調査
2023-004	承認	抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動状況の抗菌薬使用量に対する影響	杉村 悟	岡山大学病院 その他 10 施設を予定	2018 年を起点にその前後 5 年間の AST の活動状況と抗菌薬 Antimicrobial Use Density(AUD)の変化についての相関を評価し、どの程度的人员や時間をどのように割いて AUD 等の抗菌薬の使用量に変化をもたらすことができたのかを多施設共同でデータ収集を行い後方視的に検討する。本研究で得られた成果は、AST の取り組みを持続可能なものとし、新たな AST の組織、活動時間増加のための根拠として提示できるものとする。